

第9次

# 福岡市基本計画

## 第1章 総論



## 第1章 総論

### 1 計画策定の趣旨

- 福岡市は、恵まれた自然環境や豊かな食文化などに加え、水道、下水道、道路、鉄道、情報通信、文化、スポーツ施設などの社会資本や、公共交通ネットワークの充実、大学や商業機能の集積、住民自治や子育て支援などの取組みにより、国内外から住みやすい都市との評価を得ています。
- 地球温暖化や生物多様性の減少、世界人口の増加に伴う水や食糧などの資源の危機など、世界規模の問題は確実に進行しています。また、東日本大震災を経験して、防災やエネルギー、首都機能の代替拠点のあり方などが検討されるとともに、企業の拠点分散化の動きも始まるなど、国のかたちも大きく変わろうとしています。
- 日本における少子高齢社会の進展に伴う人口構造の変化は、今後も確実に進行し、経済、社会、地域コミュニティなどについて、これまでの延長線上の考え方では維持していくことが難しくなっていきます。また、東日本大震災を経験して、人との「絆」や「つながり」に対する人々の意識は高まっていますが、さまざまな面でこれまでのライフスタイルや価値観を転換せざるを得ない時代となっています。
- アジアが急速に発展する中、国や地域を越えて社会経済活動が活発に行われ、都市間競争が世界規模で激しさを増し、経済社会の先行きはますます予測困難なものになってきています。福岡市はこれまで国内の他都市に先駆けてアジアとの交流を掲げてまちづくりに取り組んできましたが、今後も活力を維持し続けるためには、アジアとの関係においても、共に成長するステージへと進むことが求められています。
- このような認識のもとで、今後の都市経営の方向を明らかにし、新たな時代にふさわしい、新しい基本計画を策定します。

## 2 計画の位置付けと目標年次

### (1) 計画の位置付け

「第9次福岡市基本計画」は、「福岡市基本構想」に掲げる都市像の実現に向けた方向性を、まちづくりの目標や施策として総合的・体系的に示した10年間の長期計画です。

### (2) 計画の目標年次

本計画の目標年次は、2022年度(平成34年度)とします。

また、計画の期間は2013年度(平成25年度)から2022年度(平成34年度)までの10年間とします。

## 3 都市経営の基本戦略

日本全体が成熟社会に移行していく中、福岡市は、世界中からさまざまな人をひきつけ、アジアの活力を取り込みながら常に躍動する都市として発展を続け、九州、日本の成長を牽引していくとともに、経済的な成長と安全・安心で質の高い暮らしのバランスがとれたコンパクトで持続可能な都市として、アジアの中で存在感のある都市づくりに時代の先頭を切って挑戦していきます。

### 【基本戦略】

- (1) 生活の質の向上と都市の成長の好循環を創り出す
- (2) 福岡都市圏全体として発展し、広域的な役割を担う

### (1) 生活の質の向上と都市の成長の好循環を創り出す

福岡市の「住みやすさ」に磨きをかけて市民生活の質を高め、質の高い生活が人と経済活動を呼び込み、都市の成長を実現させ、都市の活力によりさらに生活の質が高まるといふ好循環を創っていきます。

そのためには、人材の多様性とその交流や対話から生まれる創造力が必要であり、それを支える基盤として、さまざまな人材が育ち、集まり、活躍できる環境づくりに取り組みます。

住みたい、行きたい、働きたい。  
アジアの交流拠点都市・福岡

質の高い生活が人と経済活動を呼び込む

### 生活の質の向上

- ・一人ひとりの元気
- ・支え合い、つながり
- ・安全、安心
- ・コンパクトシティ(※1)

### 都市の成長

- ・人をひきつける魅力
- ・企業の立地
- ・スタートアップ(※2)
- ・アジアと共に成長

都市の活力が生活の質を高める

### 人材の多様性、交流・対話、創造力

- ・教育
- ・人材育成
- ・人材の集積

(※1)コンパクトシティ：福岡市における「コンパクト」な都市の概念については、第2章「2 空間構成目標」(P113)を参照。

(※2)スタートアップ：新しい行動や事業を起こすこと。

### ① 生活の質の向上

- ・ 少子高齢社会の進展により、既存の仕組みでは社会の変化に対応できなくなる中、子ども、女性、障がいのある人、高齢者など、一人ひとりが元気に生活できるよう、さまざまな新しい仕組みづくりを進めます。
- ・ 地域コミュニティにおけるさまざまな支え合いやつながり、交流や対話を、生活の質を高める基盤として大切にします。
- ・ 安全・安心が確保され、人にも環境にもやさしい、コンパクトに暮らせるまちをつくりまします。
- ・ 独自の歴史や文化を尊重し、自然環境や景観を守るとともに、快適な生活基盤をより充実させ、心豊かな市民生活を支えるまちづくりを進めます。

### ② 都市の成長

- ・ 都心部の機能やゲートウェイ機能など、成長を支える都市基盤を充実するとともに、歴史や文化、自然や食などの、福岡市の魅力に磨きをかけます。
- ・ 地場産業のイノベーション(※1)や市場拡大を促進するとともに、域外(九州外)から、成長分野の企業や本社機能の誘致を進めます。
- ・ まずは、クルーズ客船(※2)の需要増への対応や、歴史や文化を生かした観光・集客、MICE(※3)の拠点機能の強化に取り組むとともに、新たなビジネス開発や実証実験などのスタートアップを促進し、域外で活躍する企業の集積をめざします。
- ・ アジアとの緊密なネットワークを生かしながら都市の国際競争力を強化し、アジアと共に成長することをめざします。

(※1)イノベーション：技術や制度の変革を利用して、新たな発想により、新たな商品やサービス、市場などを開拓すること。

(※2)クルーズ客船：航空機や鉄道など代替・振替の輸送機関としてではなく、宿泊施設・様々なエンターテインメントを備えた、洋上ライフを楽しむための旅客船。

(※3)MICE(マイス)：多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。企業などの会議(Meeting)、企業などが行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行：企業などが社員に報奨として与える旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会などが行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字をとったもの。

### ③ 人材の育成と集積

- ・生活の質の向上と都市の成長の好循環を支える原動力として、多様な人材を育成するとともに、集積を図ります。
- ・次代を担う子どもたちが夢をもち、自ら行動する力を身につけることのできる教育を推進します。
- ・大学や多様な専門学校などの高等教育機関が集積している福岡市において、教育・研究機能をさらに充実させるとともに、若者、留学生など多様な人材が国内外から集まる、魅力ある高等教育環境をつくります。
- ・大学、企業などと連携のもと、多様な人材の育成に取り組めます。
- ・多様な人材がそれぞれの能力を発揮し、働き、活躍できる環境をつくとともに、人材の定着を図ります。
- ・労働力人口が減少する中で、今後一層重要な社会の活力の源となる、女性や高齢者の活躍を支援します。

## (2) 福岡都市圏全体として発展し、広域的な役割を担う

生活圏・経済圏が一体化した福岡都市圏では、これまで交通、水、医療・福祉、環境などの都市圏に共通する課題に一緒に取り組んできました。

福岡都市圏を取り巻く環境は、少子高齢化の進行、人口減少社会の到来や情報化・国際化の進展など急激に変化しています。このような社会情勢の変化に対応していくためには、福岡都市圏の各市町が連携を一層深めて、一体となり、安全で安心して生活でき、文化や仕事が充実し、成熟した社会にふさわしい市民生活の場を提供するとともに、九州、日本全体の発展を牽引する、国際競争力をもった都市圏を実現していくことがより重要となります。

福岡市は、このような考えのもと、都市圏の各市町との連携を基盤にして、九州・日本・アジアとの関係においても、次のような広域的な役割を担っていきます。

### ① 九州における役割

- ・福岡市は、九州のゲートウェイとして、情報発信や域外とのネットワークの機能をもち、多様な都市間の連携の中で、文化、教育、経済、情報などさまざまな高次機能を備え、九州全体の成長を促進するとともに、災害時における市域を越えた支援など、九州全体の安全・安心に貢献する役割を担っていきます。

## ② 日本における役割

- ・福岡市は、日本海側最大の都市であり、アジアに近い位置にあることから、我が国におけるアジアを向いた都市として、学術、文化、経済などさまざまな面で日本とアジアをつなぐ役割を担っていきます。
- ・東日本大震災以降、福岡市に企業の本社機能の一部などを移転する事例が増加しているほか、福岡市は、首都圏の中核機能の継続が不可能となった際の、首都機能の代替拠点の候補にも挙がっており、首都圏に集中する各種機能の補完や機能分散の受け皿としての役割を担っていきます。

## ③ アジアにおける役割

- ・福岡市は、経済発展と質の高い生活のバランスがとれた持続可能な都市として、都市デザイン、環境、上下水道、交通、福祉などの分野において、今後発展していくアジアの諸都市のモデルになるとともに、人材や交流の蓄積を生かし、アジアと共に、文化的にも経済的にも継続的に発展する拠点としての役割を担っていきます。

### 【基本姿勢】

福岡市は、海に育まれた歴史や文化、豊かな自然環境と充実した都市機能、多彩な人材など、さまざまな財産に恵まれ、世界の中でも住みやすいと評価されている都市です。

アジアが世界における重要性を増しつつある今こそ、海に開かれ、アジアとの交流の歴史の中で発展してきた福岡市は、基本構想に掲げる都市像の実現に向けて、『人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市』をめざすという大きな志をもって、新しい時代の都市づくりに果敢に挑戦していきます。

それは、人口や経済規模で一番になるということではありません。福岡の未来に向け、市民一人ひとりが夢と自信をもって、豊かで住みよい美しいまちを創り、経済的な成長と安全・安心で質の高い暮らしのバランスがとれたコンパクトで持続可能な都市として、アジアに貢献し、そして目標とされる都市づくりに取り組んでいきます。